

2021年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
ベーシックスキル2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	広瀬眞之			実務経験	有	職種	ミュージックアーティスト科作品研究講師				
授業概要											
この科目を受講する学生は、ダンスを職業にする為に必要なストリートミュージック、クラシックミュージック、ポピュラーミュージックなどの音楽的知識やダンスの歴史を幅広く学び音楽に対する理解力と造詣をを深める。											
到達目標											
この科目では、学生が、自分たちが踊る楽曲がどんな背景から生まれた曲かを理解する事で、表現力を高めるための知識を身に付ける。またダンスがどのように進化してきたかの歴史を知る事で、振付けなどクリエイティブな作業のアイデアを増やし新たな創造につなげる。											
授業方法											
この授業では、音楽への造詣を深める為の各テーマにそった音楽の歴史を学ぶ講義と、実際に映像を使って作品を鑑賞する事でより感覚的に知識を身に付ける授業を行う。またディスカッションや、授業後半で振り返りレポートを作成する事で理解力を深める。											
成績評価方法											
〈記入例〉 試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する レポート 20% 授業内容の理解度を確保するために実施する 平常点 30% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、常にクリエイター、ダンサーとしてのイメージを持って講義に臨み、自分の作品作りや振付時の楽曲選びのアイデアを増やすなど、能動的に知識を吸収する事を心がける。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。オンデマンド授業講義を受講し課題を必ず提出する事。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	フリースタイルの表現3/前回授業の内容に基づき、各グループのフリースタイルについて発表を行う										
第2回	舞台表現の中でのダンス、求められるスキル①										
第3回	舞台表現の中でのダンス、求められるスキル②										
第4回	オーディションに受かるためのダンスとは、を考える										
第5回	ソウルミュージック、ディスコミュージックの歴史										
第6回	R&B、R&B HIPHOPの歴史										

2021年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
ベーシックスキル2	
第7回	現在のキッズダンスのレベルを知り、指導者になった際に必要なスキルを考える
第8回	現在の部活動でのダンスの現状を知り、指導者になった際に必要なスキルを考える
第9回	オーディション用の見せ方を考えてみる
第10回	オーディション用のパッケージを作る
第11回	ハウスミュージックの歴史やヨーロッパのダンスシーンを研究する
第12回	エンターテインメントの代表的なジャンルであるJAZZダンスの歴史を総括する
第13回	クラシックへの造詣を深める
第14回	世界的にも最も人気のあるジャンルとなったHIOHOPダンスの歴史を総括する
第15回	現在メディアで必要とされるダンサー像をポピュラーミュージックの歴史から学ぶ